

山野草を使った和風の寄せ植え

盆景という言葉があるように、日本では、鉢や盆に自然の景色を模した植え込みがあります。その雰囲気を取り入れることで、趣の違った寄せ植えを楽しむことができます。

通常のコンテナガーデンは、主木といくつかの花を組み合わせ、音楽で例えるとオーケストラ。それに対し、和の寄せ植えは、ソロやトリオのように個々の姿を際立たせます。盆景には、いろいろルールがありますが、堅苦しく考えず、要素を少しだけ取り入れましょう。
例えば、3点、5点と奇数の配置で植え込むと、姿がまとまります。

和風の寄せ植えで、秋らしい演出

■ 植え方



材料

プラスチック盆栽鉢
斑入りヤブラン
ダンナチダケサシ

コクリュウ
紫花ニオイスミレ
大文字草

1. 配置を決めたら、ポットから抜いて鉢に入れます。
2. 山野草の土を入れます。
3. 全部植えたら、鉢回りを叩いて、土がまんべんなく行き渡るようにします。
4. 化粧用の軽石砂（小粒）を表面に敷いて、仕上げます。紫花ニオイスミレの茎の節に白い突起が幾つか見えます。これは根となるもとです。これを含めて挿し芽をすると、発根します。山野草には、このように殖やせる種類が多くあります。



ポット植えで手軽に楽しむ

■ 植え方



材料

プラスチック盆栽鉢
中国ホトトギス
初雪カズラ

ダルマ萩
ビロード苔
木の端切れ

これからの季節は同じ花を長く楽しむより、ポットのまま鉢に入れて、交換しながら、いろいろな花を楽しんではいかがでしょうか。ポットの高さが鉢より高い時は、ポットの縁を折り込むなど工夫をしましょう。ゴロ土を入れて目隠しします。ホトトギスが終わったら、福寿草、カタクリ、すみれと季節の移り変わりを楽しみます。

